

赤ちゃんが人生を歩み始めるその前に

あなたが踏み出す 大切な一歩

B 群溶血性連鎖球菌（GBS）はよくみられる細菌の一つで、妊婦さんの 5 人に 1 人が保菌しています。

GBS は妊娠中の合併症や、赤ちゃんへの重い病気を引き起こすことがあります。

母子免疫ワクチンの治験により、世界中の赤ちゃんを GBS から守ってあげられるようになるかもしれません。



この治験があなたとあなたの赤ちゃんに適しているかどうかは当院のスタッフにお問い合わせください。または「治験の URL」で詳しい内容をご覧ください。

大阪はびきの医療センター 産婦人科 または
大阪はびきの医療センター問い合わせフォーム
(<https://www.ra.opho.jp/contact/>)

BEATRIX 試験について



この治験は、健康な赤ちゃん 1 人を妊娠中の健康な妊婦さんを対象としています。



この治験に参加する場合、妊娠 24～36 週の間に研究中のワクチン又はプラセボのいずれかの治験ワクチンをお母さんに 1 回接種します。

プラセボは、研究中のワクチンと見た目がよく似ていますが、有効成分を含んでいません。



お母さんの治験参加期間は出産後約 6 カ月までです。赤ちゃんの治験参加期間は生まれてから約 12 カ月までです。

お母さんには少なくとも 5～6 回、赤ちゃんには 4 回、治験のための来院・連絡があります。このうちいくつかは電話で行うこともあります。



治験期間中は、お母さんとあなたの赤ちゃんの健康状態を注意深く観察します。



この治験に参加することで、あなたが新たに支払う費用はありません。また、治験参加に伴う交通費などの負担を軽減する目的で、負担軽減費をお支払いいたします。